

企業を元気に、情熱系経営マガジン

「継ぐ」極意

食の安心を追求した先代の道を
さらに先へ発展的に継承

株式会社明和食品
辻尾 正比呂さん

堺のイチオシ

高度な塗装技術を活かし
医療用陰圧コンテナを開発

株式会社三翠社

SAKAIの傑作

女性が美しく
活躍できる作業服を

株式会社三天被服

SPECIAL FEATURE

事業の再構築で さらなる発展に挑戦

株式会社アイテック／株式会社太田鉄工所

超臨界技術を活用した 機能性材料加工業へ進出

株式会社アイテック
代表取締役 飯田 勝康

新型コロナウイルス感染症の流行により、経営の厳しい舵取りを余儀なくされた企業は少なくないでしょう。そうしたなかで、自社の強みを活かして事業の再構築を図ろうとしている2社に、ポストコロナを見据えての新たな挑戦についてお話を伺いました。

.....

ブラウン管の製造設備から 超臨界流体技術の開発へ

374℃と22・1MPaという非常に高い温度と圧力をかけられた水は、液体と気体の境界線のない「超臨界水」と呼ばれる状態になります。株式会社アイテックは、この超臨界水の密度が気体より低くなった状態になると誘電率が低下するという現象を利用して、有機・無機ハイブリッドナノ粒子を合成する装置を自社開発。2005年から発売しています。

同社では1995年の創業当初、テレビのブラウン管の製造設備を手がけていましたが、液晶テレビの台頭により事業の継続が難しくなり、自社が持っていた高温・高圧技術を活かせないかということで「超臨界」に着目しました。現在は、超臨界水熱合成装置のほか、超臨界CO₂装置を製造、販売しています。なかでも、最近注目されているのが超臨界CO₂です。



高圧縮技術を活かした機械や装置の設計も自社で行なっている。

臨界圧力7・38MPaを超えた領域でのCO₂が有機溶媒(※1)のような働きをする特徴を利用しており、今まで有機溶媒を使って行われていた抽出や洗浄、粒子合成、染色などの用途への利用が可能となりました。有機溶媒を使った技術と比べ、有機溶媒を除去するための乾燥プロセスや溶媒の廃液処理、防火対策、脱臭対策などが不要となり、環境リスクが非常に低いのが大きな特長です。

昨今の地球環境に配慮して循環型社会を目指すSDGs(※2)やCCUS(※3)への関心が高まっていることから、多くの企業が有機溶媒に代わるものとして超臨界CO₂に注目しており、同社にも毎日のように問い合わせがあるといいます。

超臨界CO₂装置の販売から 受託加工へ事業を拡げて

しかし一方で、超臨界CO₂装置は



ナノ粒子の合成や無機粒子の造粒など、顧客に代わって超臨界技術装置による試験・試作を行っている。

非常に高額なうえ、この装置を使用して製造するには法律に従った運用が必要であり、購入に向けてのハードルが非常に高いのが実状だったと、飯田大介取締役営業部長は言います。「そこで当社では、超臨界装置を使った試作試験を受託するサービスを始めましたが、その先で装置の販売に結びつけることが本来のねらいでした。しかし、高額な装置を簡単に購入いただけるわけではなく、このたび受託試験・試作だけでなく、受託製造を手がけることとしました。これを事業化できれば売上も安定し、事業プランも立てやすくなると考えています」。

例えば宇宙ステーションや人工衛星などに使用されるエアロゲルとは、シリカを骨格とし、99%以上が空気でナノレベルの細孔を形成している極めて軽量の高性能断熱材料素材です。内部構造を破壊せずに乾燥

※1) 有機溶媒…有機溶剤のこと。水に溶けない物質を溶かす液体の有機化合物の総称。
※2) SDGs (Sustainable Development Goals) …2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標。
※3) CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage) …CO₂を回収して大気中に放出させない「回収・有効利用・貯留」の考え方や技術。

する技術が求められます。超臨界CO₂を使えば、より軽く、より薄くて高断熱効果の製品づくりが可能です。SDGsならびに2050年カーボンニュートラルの実現に向けて広く産業素材として、自動車特に電気自動車、航空機、住宅・建材などに重要な材料になります。

またハイテク産業や半導体産業に無くてはならない機能性素材の有機成分洗浄に超臨界CO₂処理が期待されます。この機能性素材には、製造工程により主製品と異なる複数の有機成分が含有されています。この有機成分は機能性を維持するために必要な物があれば、付着により機能を阻害する不要成分もあります。有機溶媒による洗浄では、これら全て除去してしまい、ベストな機能性を発揮できない問題が有りますが、超臨界CO₂は温度、圧力を変えることにより、選択した除去が可能です。

同社では、この超臨界CO₂技術を使って、機能性材料受託加工への進出を考え、現在浜寺工場で設備の準備中です。受託試験部のリーダー・鈴木慎悟さんは「さらには健康食品から有効成分だけを抽出したり、脂肪分を除去したりといったことも考えられます。堺の伝統産業であるお茶（抹茶）からカフェインだけを除去する開発も行っています。成功すれば製茶メーカーから受託加工を行う

計画で、カフェイン摂取したくない妊婦さんなどに喜ばれると思います」と語っていました。

いろいろな高付加価値材料の加工・開発を目指して

これまで主に機械装置を手がけてきた同社が機能性材料加工に進出するに際し新しく導入される設備について、飯田取締役営業部長は「高圧設備ですので、安全面はさることながら、IoTを取り入れた設備を考えています。受託加工という新たな事業を立ち上げるにあたっては、機能性素材や食品加工に限らず門戸を広げておきたいと考えてます」と答えています。実際に、最近は受託での研究開発・試験・試作のうちに委託加工を希望する企業が増えています。鈴木さんは「特殊な装置ですし、飛び込み営業をして需要をキャッチできるものでもないで、現在も行っていますが、ホームページを充実させて、インターネットを通じて広く営業活動を行っていきたい」と語っていました。

アイテックではすでに、自社独自の

技術を生かした機能性ナノ材料や、ナノ素材の応用製品として透明スクリーンフィルムなどを自社製品として販売してきましたが、今後は超臨界CO₂の技術から新たな自社製品も誕生



循環型社会のために必要な自社の超臨界技術。浜寺工場では、あらゆる分野の試験を手がけている。

株式会社アイテック

代表者名／代表取締役 飯田 勝康

本社／堺市堺区海山町3-161-2

TEL／072-226-8853

設立／1995年設立

資本金／5,000万円

従業員数／11名

事業内容／超臨界水熱合成装置、

超臨界CO₂装置、グリーン水素水

熱装置、高圧スラリーポンプ、機能性ナノ材料、

透明スクリーンフィルムなどの開発、製造、販売

(株)アイテック
ホームページ



／成功のポイント／ 同社の超臨界水熱合成装置は産業界・学会から高い評価を得ています。

今回、超臨界CO₂技術・装置を使って、機能性材料受託加工事業に進出することは、高度な加工技術を持たない中小食品・医薬品企業にとって、開発・製造の強力なパートナーとして期待できます。

高い金属加工技術を活かし 医療分野へ挑戦

株式会社太田鉄工所
代表取締役 太田 勝久

100種類を超える素材への対応と
単品加工で独自性を発揮

1969年創業の株式会社太田鉄工所。マシニングセンターやNC旋盤に始まり、今では五軸マシニングセンターやNC複合機、CAD・CAMなども備えて、あらゆる金属加工に対応できることを強みとしています。

「かつては大手産業機械メーカーの二次下請けとして大量生産を担っていたこともありましたが、製造拠点の海外流出が進んで仕事が激減したのをきっかけに、親会社の事情で経営環境が左右される事業のあり方を見直しました。現在は、持ち込まれた案件で当社の機械でできることなら断らず、ステンレスをはじめとする鉄鋼系材料はもちろん、チタン、アルミなどの非鉄鋼系金属や各種樹脂など、難削材も含めて100種類を超える材料に対応しています」と太田勝久社長は話しています。

しかも、最近は少ロット生産を謳うものづくり企業が増えてきていますが、太田鉄工所のように究極の少ロットである単品から請け負っている企業は珍しく、同社の製品の85%が単品加工だといいます。

たとえ図面がなくても、また、どれほど複雑な形状のものでも、画像



コンピュータによる夜間の自動運転で、機械の稼働率を上げながら、生産性の向上を図っている。

測定機で形状をプログラム化し、CAD・CAM設計システムで全く同じものを再現することができるとか。さらに同社では金属加工だけでなく、太田社長が築いたネットワークにより、ワイヤー加工や研磨、熱処理、表面処理などの加工も含めて一貫通貫で請け負い、完成品で納めることができる総合力も自負しています。

10年先を見越した事業の再構築で 経営の安定を図る

その太田鉄工所では、このたび中小企業庁の「中小企業等事業再構築促進事業」の支援を受けて、新たに複合機を導入し、医療分野へ挑戦することを決めました。その思いを太



複雑な形状の加工を得意とする太田鉄工所。超硬素材も多く手がけている。

田社長に伺いました。

「自動車だつてガソリン車から電気自動車へのシフトが進み、これまで自動車産業に関わってきた多くのものづくり企業が廃業か他産業への転換へと追い込まれています。今の時代、5年後のことなんてわからないのです。当社も、今は順調でも先のことは読めません。だから、今のうちに別の事業を立ち上げておく必要があると考えました。もしかすると、10年先には新しい事業のほうが成長して会社を支えてくれるかもしれません」。

そこには、長年培ってきた技術力への自信も垣間見えます。十数年前に五軸マシニングセンターを導入した時には、宝の持ち腐れになるかのように言われたことも。実際、最

初は稼働時間も少なかったということですが、現在はこれらを使いこなせる技術力も備わって、またこれだけの設備を持っているならと難しい案件も持ち込まれることも増えたといえます。「周辺の設備も整い、いよいよ事業の再構築をしていくということになった」と太田社長は語っています。

では、なぜ医療分野だったのかについては「ものづくり企業にとって、航空機と医療分野は、とても難しいけれど魅力的な領域です。そこで、航空機の開発メーカーの協力会社にも話を聞きに行ったのですが、航空機に関わるには多額の先行投資が必要で、しかも回収には長い期間がかかるとのこと。大きな資金力がないと無理だなと判断しました」。

人工骨の製作を目標として 目指すは医療分野への参入

そして今、同社が着目しているのは人工骨です。

「人工骨は海外からの輸入品が多いと聞きますが、患者は日本国内で手術するわけですし、日本人の骨格に合わせるための細かいオーダーも国産なら対応できます。材料もチタンやステンレスが使われていますが、将来的には新しい材料が開発されるかもしれません。医療の進展と

ともに医師や患者のニーズも変化するなかで、柔軟に対応できることが重要であり、小回りのきく当社なら医師たちの細かい要望にも応えることができるでしょう」。

日頃、単品加工を主に手がけている同社には、試作のために他社ではまだ扱っていない難削材などの新しい素材が持ち込まれることも少なくなく、そうしたことも人工骨に携わるうえでの優位点だと考えているようです。

設備が整うのは2022年の夏以降。それまでの準備として、現在は情報収集とアプローチ先のリストアップやリサーチを進めているところだとか。かつて医療機器メーカーで営業に携わっていた太田佑吾営業主任は心強い戦力です。

「以前に薬剤メーカーの製造機器に携わったことがあるものの、医療分野に実績のない当社が、人の命にも関わる人工骨の領域に参入するのは非常にハードルが高いことも承知しています。そこでまずは医療機器の製造など、周辺の領域から手がけることができると考えています」。

アフターコロナを見据えて、最近、人員も増強し、得意先の裾野を広げるべく名古屋方面への営業の強化も進めていると太田社長。その視線は遠く5年後、10年後を見つめています。



五軸マシニングセンターの導入から十数年を経て、社内での技術の継承も確実に進められている。

株式会社太田鉄工所

代表者名／代表取締役 太田 勝久
本社／堺市中区榎葉162-4
TEL／072-230-5591
設立／1969年創業 2020年設立
資本金／100万円
従業員数／18名
事業内容／金属切削加工



株式会社太田鉄工所
ホームページ



成功のポイント／

積極的な設備更新や新しい素材への加工に挑戦し、ノウハウを蓄積してきた株式会社太田鉄工所。新たに、人工骨の製作を目標に医療機器分野へ進出、医療従事者の細かいニーズへの対応に挑戦しています。常に、新しいことに挑戦している太田社長の経営姿勢が成長の原動力となっています。

農業機械や建設機械などの塗装から パーツのアッセンブリーまで

1954年の創業以来、大手産業機械メーカーの協力会社として農業機械部品や建設機械部品などの塗装を多く手がけてきた株式会社三翠社。昨今、産業機械の塗装にも仕上がりの美しさが求められるなか、同社では、長年培ってきた高度な技術力と豊富なノウハウに加え、カチオン電着塗装や静電設備などの最新設備や、ラインの全自動化の導入などで時代の要請に応えています。

また現在では、トラクターのロータリーや建設機械のキャビンといったパーツのアッセンブリーも担っており、嘉祥寺社長は「部品メーカーとしての地位を確立させたい」と語っています。

精密機器を保護する収容箱を 自社独自に開発

そして、もう一つの事業の柱が、鉄道や通信関連の精密機器を保護する収容箱です。

「開発のきっかけは、携帯電話の普及にともない、通信基地局の膨大な増設が必要になったことでした。屋外に設置される基地局を保護するために、当社が得意とする金属塗装技術を活かして収容箱やシェルターを自社開発したのです」と嘉祥寺社長。駅ホームやコンコースに設置されているTVモニターケースや監視カメラケースなどでも豊富な納入実績を誇っています。

収容箱には、オーダーメイドで特注に対応するキュービクル型と、規格化された輸送用コンテナを活用したコンテナ型があり、最近では太陽光発電や蓄電池設備などの設備機器



キュービクル架台の溶接作業。働きやすい環境の中、女性社員も活躍している。



「社長就任時に売上100億円を目指すに掲げた目標は今期に達成できそう」と嘉祥寺社長。今後は、数年先を目標に持株会社化など一体的な組織づくりを行いたいとしている。

のシェルターも多く手がけています。特にコンテナ型の特長としては、設置や移動が容易であることや頑丈であることが挙げられ、消防法や建築基準法に基づいた構造にもできることから災害時の仮施設としても期待されています。

感染予防対策に需要が高まる 医療用陰圧コンテナを新開発

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、新たに開発・発売されたのが「医療用陰圧コンテナ GREEN BOX」です。自社工場で空調設備や陰圧機器などを全て設置し、完成した状態で納品するため、現地での工期が大幅に短縮できるほか、短期設置はもちろん、建築確認申請対応のため、長期設置にも対応できます。コンテナならではの頑丈さで多雪地域や塩害地域での使用にも耐え、必要に応じて移動することも利点でしょう。

こうした同社の企画開発力はこのように培われてい



CDCガイドラインに準拠した陰圧機器を標準搭載した医療用陰圧コンテナ「GREEN BOX」。左上の写真は「GREEN BOX」の内観。

るのか、嘉祥寺社長は「日頃の仕事のやり方や製品の売り方を見直し変えてみる、そんな小さな改善でもイノベーションだと考えています。会社の永続に必要なのは、こうした小さなイノベーションの積み重ねであり、当社ではどんなことでも改善提案した社員には全員、わずかな金額ですが報奨金を出しています。輸送用コンテナの活用なども社員の提案で実現したものです。日本のものづくりはまだまだ期待できますよ」と語っていました。

活用した事業メニュー

■ビジネスマッチング事業

堺市内の企業交流会に参加しています。堺市産業振興センター1階ロビーに製品を展示していたことで引き合いもありました。

■DX導入促進支援事業

ホームページのリニューアルにあたってSEO対策を行ったほか、会社や工場、製品を紹介する動画を制作し、ホームページや展示会会場で活用しました。

■各種セミナーの受講

DXや知的財産などのセミナーに参加。新製品の特許情報の調査方法を知ることができたのは有益でした。

株式会社三翠社

代表者名／代表取締役 嘉祥寺 豊
本社／堺市西区築港新町2-6-36
TEL／072-245-3131
設立／1954年設立
資本金／9,800万円
従業員数／180名
事業内容／各種塗装、収容箱や
鉄道関連製品などの製造・販売



(株)三翠社
ホームページ

高度な塗装技術を活かし 医療用陰圧コンテナを開発





【政令指定都市初】

堺市内企業オープンデータポータルサイト

『さかしる』運用開始！！

堺市では、令和3年11月25日（木）より(公財)堺市産業振興センターを運営者とした、政令指定都市としては初となる企業データベースを活用した堺市内企業ポータルサイト『さかしる』の運用を開始しました。是非活用ください！！

『さかしる』サイト <https://sakacil.com>



★さかしるとは

国が公開している企業のオープンデータ※¹をもとに、堺市に本社を置く約2万4千社の法人企業情報を掲載し、さらに市内企業が自ら情報を入力することも可能となるオープンデータサイトです。

※1 オープンデータとは、国や地方公共団体・事業者が公開したデータで、「誰もが利用（加工・編集・再配布等）できること」、「営利・非営利に関わらず二次利用が可能であること」、「機械判読できること」、「無償で利用できること」といった条件が定められたものです。

※2 本サイトの利用は、利用者が自己の責任に基づいて行うものとします。

★『さかしる』に登録すると…

1 無料で自社の情報発信ができる

HPが無くても情報発信ができる！

2 行政の支援情報が届く

補助金・助成金などの情報がタイムリーに届く！

3 堺の企業のことを知り新しい発見が生まれる

新規取引先の創出・協業先の開拓に！

【登録方法】

12月上旬に市内の企業法人（株式会社、有限会社、合名会社、資合会社、合同会社）約2万4千社の本店登記住所宛に郵送したカードに記載されているQRコードを読み取ることで簡単に登録ができます。

国の共通認証システムである「G Biz ID」のうち、「gBizID プライム」または「gBizID メンバー」を取得されている法人企業は、そちらを利用してログインすることもできます。



※QRコードは再発行できませんのでご注意ください

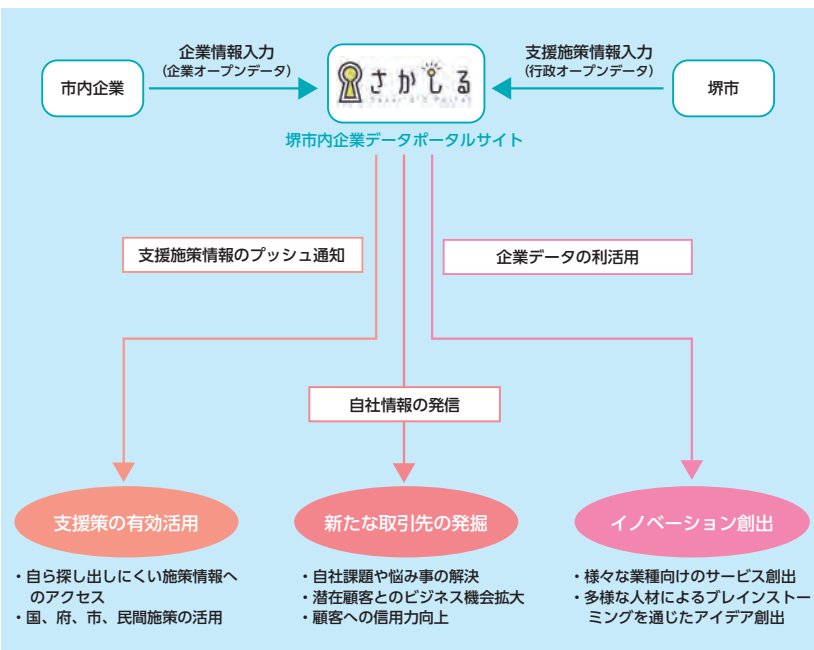
または
gBizID
gBizID プライム
gBizID メンバー
gBizID エントリー

『さかしる』に登録できる要件

堺市に本店登記をしている法人「株式会社、有限会社、合名会社、資合会社、合同会社」

※堺市に本店等登記をしていないものの、主たる事業所を堺市内に持つ法人企業（同上）についても、登録（ページ登録には時間を要します）が可能となりますので、ご希望の際は（公財）堺市産業振興センターまでお問い合わせください。なお、登録前に当センターとして堺市内に主たる事業所を置いていることを確認させていただきます。確認内容により（主たる事業所と認められない等）登録ができない場合がありますことを予めご了承ください。

【『さかしる』の活用イメージ図】



【問い合わせ先】『さかしる』お問い合わせセンター（開設期間 令和4年1月31日まで）

TEL. 072-276-6656 ※平日 9:00～17:30（土日祝祭日・年末年始12月29日～1月3日は除く）

【本サイト事業全般について】（公財）堺市産業振興センター

TEL. 072-255-6700 ※平日 9:00～17:30（土日祝祭日・年末年始12月29日～1月3日は除く）

令和3年度「堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」

一企業・地域経済発展など功績のある136名を表彰一

10月27日(水)、堺市民芸術文化ホール(フェニーチェ堺)において、「令和3年度堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」が開催されました。「堺優良従業員表彰」は、堺市内の事業所等に勤務する従業員で、特に企業の発展に貢献があった方々をより広く顕彰し勤労意欲の向上に資すること、また「堺技能功労者表彰」は堺市内で功労顕著な技能者の社会的・経済的地位と技能水準の向上を図ることを目的として、堺市と堺商工会議所が共催で、毎年実施しているものです。

今年は136名(64事業所)が栄える表彰を受け、それぞれ永藤堺市長・葛村堺商工会議所会頭連名の表彰楯が授与されました。

各部門別表彰内訳(順不同・敬称略)は以下のとおりです。

《堺優良従業員表彰》132名

◆永年表彰 83名 対象: 勤続10年以上、勤続20年以上、勤続30年以上、勤続40年以上、勤続50年以上

◆功労者表彰 41名 対象: 勤続年数を問わず、特に功労があった従業員

◆産業ルネサンス表彰 8名

対象: 新商品・新サービスの開発、生産・環境分野での技術開発等、独創的なアイデアや新しい手法等を考案することで、地域経済の再生・発展に貢献した従業員またはグループ

受賞者: 大槻 直史(太陽パーツ株式会社)、垣永 貴光(株式会社中村超硬 ナノサイズゼオライト開発チーム)、薦井 誠(株式会社三翠社 NPDG(New Product Development Group))、長尾 康人(株式会社クボタ 堺製造所)、西村 章(株式会社樋原製作所)、萬羽 俊一(株式会社クボタ 堺製造所)、古澤 香澄(株式会社三天被服)、梁 義正(株式会社サカイ引越センター 西日本本部)

《堺技能功労者表彰》4名

対象: 堺市域の産業振興及び業界全体の振興・発展に貢献している功労顕著な技能者

受賞者: 戸田 理一(株式会社サイガ)、富田 尚典(富田電機株式会社)、山本 一也(株式会社奥野晴明堂)、若井 進(株式会社和泉利器製作所)

受賞者氏名等、詳細につきましては、堺市ホームページ下記アドレスをご覧ください。

https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/kgiyo/saiyo_techaku_ikusei/hyoshoshiki.html

「メディカルジャパン大阪2022」関西広域連合ブースへ出展!

さかい健康医療ものづくり研究会では、堺市内の中小企業が持つ技術シーズと健康・医療分野の現場ニーズを医工連携コーディネーターがつなぎ、製品開発などに総合的なサポートを行っています。2月に開催される「メディカルジャパン大阪2022」関西広域連合ブースに、今年は、研究会参加企業から2社出展します。是非お立ち寄りください。

展示会名 メディカルジャパン大阪2022 開催日時 令和4年2月24日(木)~26日(土) 10:00~17:00 開催会場 インテックス大阪

・株式会社クレアフィールド (<https://creafield.com>)

出展日: 令和4年2月25日(金)

展示物: アイロン不要の介護向けお名前シール

連携先: 兵庫大学



・株式会社エミリエ (<https://emirie.biz>)

出展日: 令和4年2月25日(金)

展示物: 医療刃物

連携先: 大阪大学



お問い合わせ先 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課 さかい健康医療ものづくり研究会事務局 TEL 072-255-6700

貸会場のご案内「イベントホール・セミナー室・会議室」

イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大小会議室、セミナー室、小ホールなど、幅広く対応可能な14会場をご用意しています。ぜひご利用くださいませ。

【利用時間】 9:00~21:00

【休館日】 年末年始(12月29日~翌年1月3日)

【お問い合わせ先】 TEL: 072-255-0111

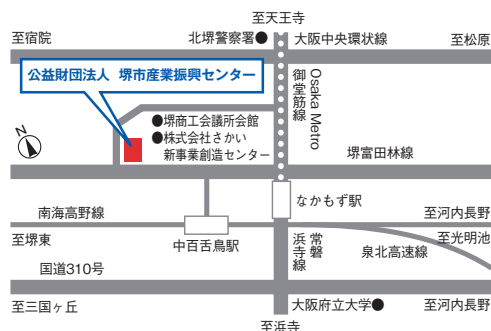


堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曽根町183-5

TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200

<https://www.sakai-ipc.jp/>



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

継ぐ意 極意

さまざまな事業継承の
有り様をご紹介します

食の安心を追求した先代の道を さらに先へ発展的に継承

代表取締役 辻尾 正比呂 さん



(辻尾 正比呂 社長)

株式会社明和食品

堺市北区野遠町9-9 TEL.072-246-1555

代表者名／代表取締役 辻尾 正比呂

設立／1973年創業 1978年設立

資本金／1,000万円

従業員数／39名

事業内容／無添加冷凍食品の製造・販売



株式会社明和食品
ホームページ

タレ漬け焼肉などの加工肉を飲食店向けに販売するメーカーとして、1973年に創業。化学調味料や添加物を一切使用しない「無添加ハンバーグ」が高く評価されている。今後は先のニーズを見据えて大豆肉や昆虫食などの研究を進めたいと考えている。



社

長就任は、30歳になる年だったという辻尾正比呂社長。「早いとは思わなかったですね。どのみち継ぐのであれば、失敗してもやり直せる若いうちがいいと考えていましたから」。

入社した2000年には、食肉関連業界を大きく揺るがす狂牛病問題が発生しました。「必死で営業に回りましたが、販売先がゼロとなって。しかし今となつては、スタートで会社の危機を目の当たりしたことは幸運だったと思えます。甘えた気分を持たずにすみしました」。

これまでの勉強会で知り合った経営者たちから経営について学ぶ機会も多かったとか。就任直後に抱いた「従業員がついてきてくれるのか」という不安も、「強いリーダーシップを発揮する経営者ばかりじゃない。裏方に徹するタイプなど、いろんな経営者がいていい」と教えられ、自分でも従業員とは少しずつ信頼関係を築いていけばいいと思えたのだといいます。

「いい会社に就職できてよかったね」と言ってもらえる会社にしたというのが、辻尾社長の抱負。社内の円滑なコミュニケーションづくりのため、各部署から選出されたメンバーでプロジェクトを作り社内イベントを開いたり、地域との関わりを大切にするため近所の清掃活動や地元の方たちに向けた直売会を行ったりしています。一方で、自分の代で会社を変えようと気負わないことが大事と語っています。「まず、先代が築いてくれたものに感謝し、その道をいかに発展的に次へ繋いでいくか。そのためには、親族外承継も選択肢の一つだと考えています。今後は新商品開発のためのラボを兼ねた直営レストランを開設したいですね」。



堺のものづくりから生まれた逸品

SAKAIの傑作

女性が美しく 活躍できる作業服を

「当社の女性用作業服の一番のこだわりは、女性が美しく見えるように工夫したパターンですね。一度着ていただけたら、すっきりしたシルエットや動きやすさなどがよくわかると思います」と東谷麗子社長。小物が持ち歩ける両サイドの内ポケットや、背中の出ない長めの丈など心憎い工夫が随所に施されているほか、胸ポケットの蓋も取って女性向けらしいデザインに留意しています。

生地についても、一般の製造業向け作業服は安全性を高めるために厚めの綿が使用されていますが、危険のない軽作業に携わっている女性が一番に求めているのは軽くて動きやすいこと。ところが、そのニーズに合ったニット素材で作業服を製造しているメーカーは、当時1社もなく、三天被服でオリジナル開発しました。

華やかな花柄の作業服は、サンプルでプリントされたもの。会社のロゴを入れるなどカスタマイズにも対応しています。最近は溶接や板金などで活躍する女性も増え、綿の作業服もラインナップされていますが、柔らかめの生地にストレッチを効かせ、ズボンの股の部分はニット素材に切り替えるなど、女性が動きやすいように工夫されています。「女性が美しく活躍できるお手伝いをさせていただきたい」と東谷社長は語っていました。



株式会社三天被服

「三方よしで天下泰平」を意味する社名は、かつて実家が経営していた作業服屋の名前。2015年の創業まもなく、オリジナルで女性用作業服を開発することになったのは、製造業の女性社長から女性用作業服について相談されたことがきっかけでした。既存の女性用作業服は男性用をただ小さくしただけ。そこで、現場の女性社員たちの声を丹念に拾い上げ、彼女たちが求める作業服づくりを素材の選定から始めました。少ロットゆえに縫製工場が確定するのに苦労しましたが、発売後は高い評価を得て、多くの注文が寄せられています。「男性と対等であることと、女性らしくあることは別問題。製造業を中心に働く女性たちが交流し互いに高め合えるような場を作りたい」と語っています。

代表者名／代表取締役 東谷 麗子
本社／堺市北区百舌鳥梅町1-4-12
TEL／072-251-0707
設立／2015年創業 2017年設立
資本金／700万円
従業員数／6名
事業内容／作業服などの
ユニフォーム販売、オリ
ジナル女性専用作業服や
オーダー作業服の企画・
製造・販売



㈱三天被服
ホームページ

堺に活気を、ものづくり応援マガジン



堺のものづくりから生まれた逸品

SAKAIの傑作

女性が美しく
活躍できる作業服を

株式会社三天被服

記事は次ページへ続きます▶▶

2021年12月末~2022年3月末頃まで堺市産業
振興センター1F「さかいモノてらす」で展示予定